The New Color of Money
Safer. Smarter. More Secure.

www.moneyfactory.gov/newmoney

アメリカ合衆国通貨の変遷

植民地時代
1690 年

アメリカ植民地時代、13 あった植民地の 1 つであるマサチューセッツ湾岸植民地は、軍遠征の費用をまかなうために、この国で最初の紙幣を発行しました。この紙幣の発行は、他の植民地にも広がって行きました。

フランクリンの偽造抑制策
1739 年

フィラデルフィアのベンジャミン・フランクリンの印刷所で、1 つとして同じ物のない本物の自然の木の葉を、お札の柄として刷った植民地紙幣が造幣されました。この方法は、何世紀も後になるまで一般には解明されず、革新的で効果的な偽造抑止策のアイデアとして、その後役立てられました。

イギリスの禁止策
1764 年

数年間にわたる植民地紙幣の制限を続けた後、イギリスはついに植民地での紙幣の発行を、全面的に禁止する命令を下しました。

大陸紙幣
1775 年

大陸議会（独立戦争時に 13 州の全代表が集結し開催された会議）は、独立戦争のための費用を捻出するため、紙幣の発行を決議しました。大陸紙幣はスペイン造幣型が主流で、かつ、簡単に偽造が可能でした。強力な偽造対応策がなかったため、紙幣はすぐにその価値を失い、「not worth a Continental」（「価値のない」の意）の成句が生まれました。

北アメリカ銀行
1781 年

誕生したばかりの政府の金融政策を維持していくために、大陸議会はフィラデルフィアに最初の国立銀行である北アメリカ銀行（the Bank of North America）をつくりました。

ドル
1785 年

議会はアメリカの貨幣単位としてドルを採用しました。

最初の中央銀行
1791 年

米国財務省の金融機関として、議会はアメリカ合衆国国立銀行を 20 年間存続させました。この銀行は国立中央銀行として機能した最初の銀行で、議会がその維持を取止めにする決定を下した 1811 年まで操業されました。国立中央銀行のシステムは国家財務上、必要不可欠であるとの理解から、議会は 1816 年に、第 2 の合衆国銀行をその後 20 年間設置することを取決めました。

貨幣制度
1792 年

1792 年の貨幣法により、アメリカ造幣局が設置され、硬貨単位の決定、金、銀および銅の硬貨価値が設定され、合衆国の貨幣制度の基礎が構築されました。

みどり紙幣 1861 年	連邦政府による初めての紙幣の発行は 1861 年でした。南北戦争の費用を捻出するため、議会は米国財務省による、無利子の約束手形の発行を決定しました。このお札はその色から「greenback」（みどり紙幣）と呼ばれました。今日、1861 年以降に発行されたアメリカ通貨は、すべて額面通りの償還価値があります。
最初の 10 ドル紙幣 1861 年	要求払い約束手形と呼ばれる最初の 10 ドル紙幣は、1861 年に財務省より発行されました。紙幣の表面にはアブラハム・リンカーン大統領の肖像画が描かれていました。
デザイン 1862 年	1862 年までに米国通過は細かな細工、複雑な対称の図柄、財務省印、そして署名が偽造抑制策として採用されて来ました。それから今日まで米国財務省は、偽造を妨げるための様々な工夫を加え続けています。
国立中央銀行 1863 年	議会は国立銀行システムの構築と、財務省に対して国立中央銀行による通貨の発行を命じることを決定しました。同システムは「国立」銀行の設置および運営に関する連邦政府のガイドラインを確立し、アメリカ合衆国債の発行により安全性が確保された国家通貨造幣の権限を与えました。
財務省検察局 1865 年	米国財務省検察局は財務省の部署の 1 つとして、国民の国家通貨に対する信頼を失墜させる偽造犯の取締りを目的として設立されました。
造幣局 1877 年	財務省造幣局は、すべての合衆国通貨の造幣を開始しました。
背景に色が施された紙幣 1905 年	背景に色が入った最後の米国紙幣は、金の色調に赤い印と通し番号が施された 1905 年に発行されたシリーズで、20 ドルの金証書でした。
連邦準備法 1913 年	1913 年の連邦準備法により、国家の中央銀行として連邦準備制度が設定され、変動する国家の金融ニーズに対応する国立中央銀行の機能が提供されました。連邦準備制度の組織は連邦準備券（Federal Reserve Note）と呼ばれる新しい通貨を造幣しました。
最初の 10 ドル連邦準備券 1914 年	最初の 10 ドル連邦準備紙幣は 1914 年に発行されました。これらの紙幣は今日の紙幣よりも大きく、表面にアンドリュー・ジャクソン大統領の肖像画が描かれていました。
デザインの標準化 1929 年	すべての紙幣に影響するデザイン上の最大の変更は 1929 年に施されました。製造費の低価格化の推進のために、全通貨の約 30%程度サイズが縮小されるとともに、異なる紙幣デザイン数を減らし、すべての額の通貨を対象とするデザインの標準化が進められました。この標準化によって、一般の人々が本物と偽造通貨を見分けることが、より簡単になりました。

In God We Trust（神への信頼）
1957 年

国家のモットーである「In God We Trust（神への信頼）」をすべて の通貨に使用することが、1955 年から法律によって義務付けられています。このモットーは、1957 年に発行された 1 ドル銀証書札発行の際に施されたのが始まりであり、連邦準備券の 1963 年のシリーズから見られるようになりました。

偽造防止糸とマイクロプリント
1990 年

偽造防止系とマイクロプリントは、最先端のコピー機や印刷機による偽造を抑止するために導入されました。その特徴は、1990 年発行の 100 ドル札から見られるようになりました。1993 年のシリーズまでに、この 2 つの特徴は 1 ドル札と 2 ドル札を除くすべての額の通貨に見られるようになりました。

通貨の再デザイン
1996 年

合衆国通貨は、数々の新しい偽造抑制策の徹底のため、67 年間の歴史の中で最初の大きなデザイン変更が行われました。再デザインの新札は 1996 年に 100 ドル札から始まり、1997 年に 50 ドル札、1998 年に 20 ドル札、そして 2000 年 10 ドル札と 5 ドル札が発行されました。造幣局は通貨の偽造抑止のため、7～10 年ごとに新デザインを採用すると発表しました。

財務省検察局が国土安全保障省へ統合
2003 年

米国財務省検察局が米国国土安全保障省に統合されるため、偽造への対抗および通貨の安全性の保護が、米国の国土安全保障策と平行して実施されました。

紙幣に新しい色：より安全に、より洗練され、そして安心してお使いいただくために。

通貨偽造者の一歩先を行くため、合衆国政府は新たに 2004 年シリーズの紙幣デザインを導入しました。1905 年シリーズの 20 ドル金証券以来はじめて、2003 年 10 月の新 20 ドル札を皮切りに、新しい紙幣に微妙な背景色が採用されました。異なった額のドル札には異なった色が使われます。これにより、一般の人々、特に視力障害者でも簡単に金額を見分けることができます。新 20 ドル札には、緑色、桃色、青色の微妙な背景色が施されるほか、アメリカの象徴であるワシの像が描かれています。

新 20 ドル紙幣
2003 年

新 50 ドル紙幣
2004 年

紙幣の新しいデザインは順次導入が予定され、2004 年後半の 50 ドル札発表の後、新 100 ドル札が発表される予定です。新デザインの 20 ドル札と同様、新しい 50 ドルには、薄い背景色が施されているほか、アメリカの歴史的象徴も強調されています。新しい 50 ドル紙幣には、青色と赤色の背景色が施されるとともに、風になびくアメリカ国旗の像と光沢のある青みがかった銀色の星が描かれています。

新 10 ドル紙幣
2006 年

2004A 年シリーズの 10 ドル紙幣は、2006 年 3 月 2 日に発行されました。シリーズの表記「A」は、紙幣の特徴に数箇所、変更があったことを示しており、今回は財務省財務官の署名に変更がありました。新 20 ドル紙幣および 50 ドル紙幣と同様、新しくデザインされた 10 ドル紙幣にも薄い背景色と自由の象徴が施されており、10 ドル紙幣には、オレンジ、黄色、赤の背景色とともに、自由の女神のたいまつの図柄と合衆国憲法の「We the People（我ら人民）」の言葉が描かれています。